

秋田市の先人たち

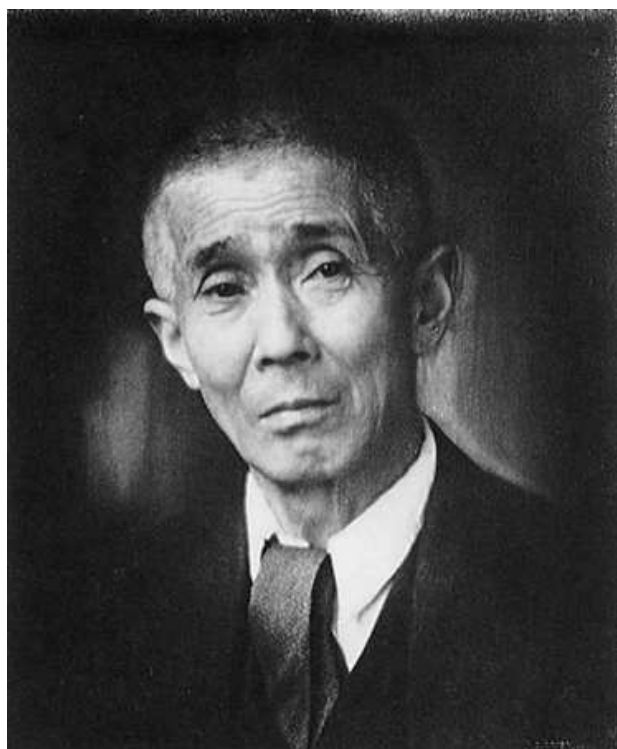
紋様学のパイオニア

小場恒吉

明治十一（一八七八）年生

昭和三十三（一九五八）年没

亀ノ丁堀反町（中通五丁目）生まれ



主な事蹟

昭和二十四（一九四九）年、東京芸術大学教授として法隆寺五重塔本尊舍利容器調査員に委嘱され、同二十五年、「日本の紋様研究」により第一回日本芸術院恩賜賞を受賞。宇治平等院鳳凰堂建築装飾紋様模写復元図の製作も手がけた。また、秋田市章や秋田工業高校章のデザインをしたことでも知られ、紋様の研究に生涯を捧げた。